

フリガナ	スケガワ タロウ			
アーティスト名/ 団体名	助川 太郎			
代表者名/構成人数		活動開始年	1995年	
ジャンル	ギタリスト、口琴奏者			
公式ウェブサイト等	http://www.tarosukegawa.jp/			
プロフィール	<p>ジャンルを超えて活動するギタリスト。 1973年東京生まれ。2001年 米ボストン、バークリー音楽大学 ギター科卒業。ブラジル音楽を中心に、ジャズのバックグラウンド、尾尻雅弘氏に師事したクラシックギターの要素、エフェクターや特殊奏法を多用したサウンドデザイン等、様々な要素が混然一体となっている演奏家である。近年では民族楽器「口琴」に深く魅せられ、口琴奏者としての活動も開始。ギター、口琴、エフェクターを併用した三位一体の演奏で、音楽シーンに全く新しい世界観を発信し続けている。ヴォーカリストEMiKO VOICEとのデュオで結成したブラジル音楽ユニット「メヲコラソン」では2003年より活動。現在までに5枚のアルバムを発表し、日経ホール、東京オペラシティ、ルーテル市ヶ谷などで毎年夏に開催される「なま音ホールコンサート」は毎回ソールドアウトの人気企画として2014年現在、継続中である。2013年、ソロギタリストとしての活動をスタート。ギター1本の完全独奏によるアルバム“ This is guitarist ” を発表し、diskunionジャズチャートで初登場一位を獲得。「レコード芸術」「現代ギター」「ラティーナ」「CDジャーナル」などの音楽誌 やサウヂサウダージ(J-WAVE)くにもまるジャパン(文化放送)などのラジオ番組など 各種メディアに取り上げられ反響を呼ぶ。 現在はソロギターでの全国ツアーの他、ジャズ、クラシック、ブラジル音楽、タンゴ、民族音楽、芝居の舞台音楽など幅広いフィールドで演奏活動を展開中である。</p>			
現在の活動状況・ 今後の活動予定	<ul style="list-style-type: none"> ・ギター独奏で様々なジャンルをお届けする「ソロギターワールド」 ・実弟のコントラバス奏者、助川龍(仙台フィルハーモニー管弦楽団ソロ首席奏者)とのクラシックデュオ「助川ブラザーズ」で仙台クラシックフェスティバル出演。 ・ボサノバユニット「メヲコラソン」でのなま音ホールコンサート ・ドラマー・パーカッショニスト芳垣安洋氏とのブラジル音楽ユニット「ブラジルの抽象画」でのライブ活動。 ・ギタリスト田中庸介氏とのタンゴプロジェクト「鉄タンゴ」でのライブ活動など。 ・珍しいけれど手軽で奥深い民族楽器、「口琴」の紹介と普及のためのコンサート、ワークショップなど開催多数。 			
千葉市との関わり	<p>中学、高校と市川市に通学、千葉市で遊び、練習スタジオなど思い出が多いです。現在は都内在住ですが、千葉県と接する江戸川区在住のため、演奏活動で千葉県内に伺う機会も多いです。</p>			
コメント	<p>あらゆる状況に柔軟に対応する音楽性、幅広い人に楽しんでもらえるエンターテインメントの心。</p>			
その他特記事項 (最低限必要な 設備・経費など)				

【お問い合わせ】 (公財)千葉市文化振興財団 「アーツステーションちば」 千葉市中央区中央2-5-1

TEL: 043-221-2411

Email: as-chiba@f-cp.jp